

たくさんのご寄附 ありがとうございます！ ございます！

2026年
| 1月 |

市では、皆様から頂いた寄附金や寄贈品を、市政発展のため様々な事業に活用しています。これからも魅力ある旭川のまちづくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願いします。

市に対する10万円以上の寄附または寄贈に伴う感謝状贈呈式を行い、報道発表を了承された団体を掲載。※寄贈は相当額。

市への寄附の詳細はこちら



田村園長

(株)弁釜様

業務本部常務取締役 田中邦男 様(左)、旭川工場工場長 大宮一生 様(右から2番目)、旭川工場工務課課長 宮澤晃史 様(中央)、旭川工場工務係 宮崎長雅 様(左から2番目) **1,300,000円 (野菜8,264kg)**



田村園長

(株)ローソン様

154,314円
(あさひやま“もっと夢”基金)



菅野副市長

ソフトバンク(株)様

803,000円 (旭山公園にエゾヤマザクラ10本植樹)



和田教育長

(公社)旭川公共嘱託登記土地家屋調査士協会様

240,000円 (北門中学校、北光小学校の永久境界標設置)

ASAHIKAWA 100 PRIDE vol.19

株式会社ウッドパーツ

技能五輪全国大会で金賞の快挙！

職人技とIT技術の融合でお客様の夢を形に

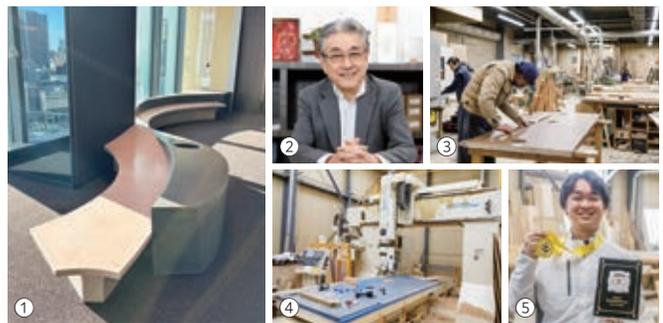
全国の23歳以下の技能者が「技」の日本一を競い合う「技能五輪全国大会」。昨年開催された「第63回技能五輪全国大会」の家具職種において、本市の楠本恭治さんが道内選手で6年ぶりの金賞受賞という快挙を達成しました。

楠本さんが働く(株)ウッドパーツ(永山北4の6)は平成6年に建具専門として創業。現在は家具も装飾も作る「木工造作屋」として、首都圏の一流ホテルやテーマパークのオーダー家具や室内装飾などを手掛けています。最大の強みは、「最新機器」と熟練の「職人技」の融合で、短納期や難易度の高いオーダーにも対応し、高品質な製品を形にしてきました。

今回の快挙に、河野社長は「本人の努力はもちろん旭川高等技術専門学院や工芸センター、旭川家具工業協同組合のサポートなど官民一体の取り組みが大きいです」と本気で家具に向き合う旭川の強みを力説します。

若手育成において、河野社長が技術以上に大切にしているのは、ものづくりの心です。「教えるのは技術よりも安全、精神論そして道徳心。例えば大会の練習で他の社員に負担がかかる時、感謝の念がないとツキも逃げていくよと教えます。一部門が120点でも社員の態度が悪ければ製品の評価は下がる。

全員が標準点以上を取ることが、製品と会社の評価につながっています。最後にこれからの目指す姿を聞くと「日進月歩で素材や技術が変化する今、新しいものに対しても、『どう仕上げていくか』を常に前向きに考えて、お客様の夢を形にしていきたい」と熱い思いを語ってくれました。



①職人の技術が光る、複雑なデザインを形にしたウッドパーツオリジナルの家具 ②(株)ウッドパーツ代表取締役 河野広秀さん ③明るい作業場は安全対策も万全 ④三次元の複雑な形や彫刻ができる5軸制御CNCルーター。職人の勘と機械の精密性を融合し、高品質な製品を創造します ⑤技能五輪で全国トップの快挙を達成した楠本恭治さん

ASAHIKAWA 100 PRIDE とは？

市制が施行されてから100年超の歴史を持つ旭川市。大正から令和にかけて様々な産業が発展する中で、「全国・世界に誇る旭川発。」をご紹介します。



旭川家具の底力が伝わる仕事ぶりはこちら！

